

# とよた 市議会 だより

9月市議会定例会  
秋号

平成17年10月15日

ファイルNo.  
74

## 分権時代にあつたまちづくりを進めます まちづくり基本条例 地域自治区条例を制定

新清掃工場環境学習施設建設工事請負契約等 82議案を議決



**愛・地球博** 21世紀初となる万博が、長久手、瀬戸をメイン会場に、3月25日に開幕、豊田市の日、フレンドシップナショナルデーなどに多くの豊田市民が参加しました。9月25日、多くの思い出を残し、閉幕しました。

9月定例会で審議した案件

議案説明

条例制定・条例改正・工事契約…………… ② ▶ ③

常任委員会・請願陳情…………… ④ ▶ ⑤

決算特別委員会・討論…………… ⑥

採決一覧 議案審議結果…………… ⑦ ▶ ⑧

### 市政について問う!

一般質問 21人の議員が質問…………… ⑨ ▶ ⑪

情報あれこれ 7月市議会臨時会…………… ⑫



# 市長給料の減額に関する条例 産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例など

主な議案を掲載しています。

議案名	内 容	
<b>【第113号】 豊田市まちづくり 基本条例</b>	<p>地方分権は、与えられるのではなく、自立した地域社会をつくることにより実現されます。</p> <p>まちづくり基本条例は、市民の権利や責務、議会や執行機関の責務を明らかにし、参画と共働による市</p>	<p>政経営を行い、市民による自治の確立を図ることを目的としています。</p> <p>いわば豊田市にとっての憲法であり、まちづくりの基本原則を定めたものです。</p>
<b>【第114号】 豊田市地域自治区条例</b>	<p>豊田市は、合併により約40万人余の人口と918平方キロメートルという広大な面積を持つことになりました。</p> <p>円滑な市政経営を行うため、地方自治法の規定に基づき、旭地域自治区をはじめ、12の地域自治区を設置します。</p>	<p>また、地域自治区内に地域会議及び代表者会議からなる地域協議会を置き、地域の住民の多様な意見の集約と調整を行い、共働によるまちづくりを推進します。</p>
<b>【第115号】 豊田市長の給料の月額 の減額に関する条例</b>	<p>勘八町地内の処理施設における、産業廃棄物の過剰保管問題に関し、不適切な対応に対する管理監督責任を明</p>	<p>確にするため、1月間市長の給料の月額を30万円減額します。</p>
<b>【第116号】 豊田市産業廃棄物処理 に係る行政処分の基準 等に関する条例</b>	<p>産業廃棄物の適正処理を確保し、市民生活における生活環境保全上の支障の発生を防止するため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定める行政処分の基準等に関し、必要な事項を定めます。</p> <p>これに基づき、法違反行為に対する市の適切かつ迅速な監督権限の行使の確保を図ります。</p>	<p>条例では、職員の心構え、行政処分に関する根本基準や基本姿勢、報告の徴収及び立入検査、刑事告発、行政処分の基準等を定めており、また、産業廃棄物適正処理審査会の設置について定めています。</p> <p>また、行政処分を行ったときの、市民への公表を定めており、行政の透明性を高めていきます。</p>
<b>【第117号】 豊田市障害者総合支援 センター条例</b>	<p>障害者の自立及び社会参加を促し障害者の豊かな地域生活の実現を図るために条例を制定します。</p> <p>身体障害者通所授産施設けきワークス、知的障害者通所更生施設第</p>	<p>二ひまわり、知的障害者通所更生施設暖の3つを、障害者総合支援センターとして設置します。</p> <p>なお、この施設は指定管理者制度により運営することも定めます。</p>
<b>【第118号】 豊田市報酬及び費用弁 償に関する条例の一部 を改正する条例</b>	<p>徴税専門員の報酬及び費用弁償の額を定めます。報酬は、月額1万9,400円、費用弁償は、豊田市職員旅費条例で定める旅費相当額です。</p>	<p>この徴税専門員は、税の徴収に伴い、差押え等で保有している土地を適正に処分するための専門知識を有し、事務を行います。</p>
<b>【第119号 ほか】 豊田市生涯学習センタ ー条例の一部を改正す る条例 ほか</b>	<p>管理の委託制度を廃止し、指定管理者制度を導入するための改正。</p> <p>導入する主な施設は次のもの。</p> <p>視聴覚ライブラリー、地域文化広場、文化財施設、青少年育成施設、勤労青少年ホーム、体育施設、市民文化会館、コンサートホール・能楽堂、六鹿会館、</p>	<p>コミュニティセンター、平戸橋いこいの広場、猿投棒の手ふれあい広場、自然観察の森、市民山の家、福祉センター、一、老人福祉センター、東山デイサービスセンター、産業文化センター、観光施設、香恋の館 などです。</p>

条例の制定

条例の改正



	議案名	内 容
条例の改正	【第173号】 豊田市火災予防条例の一部を改正する条例	消防法の一部改正に伴い、住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準の設定、廃棄物固形化燃料等の貯蔵及び取扱の技術上の基準の設定を行います。  火災による死亡事故減少のため、居室、階段、台所へ、火災警報器の設置が義務付けられ、平成20年5月31日までは、すべての住宅で設置されなければなりません。
	【第174号】 一般会計補正予算	17億5,100万円の増額補正を行い総額1,562億300万円となりました。歳出の主なものとして、地域自治区設置条例の施行に伴う、わくわく事業補助金1億3,000万円、不適正処理産業廃棄物処理費1億9,000万円公共建築物アスベスト調査費2,000万円などです。
補正予算	【第175・176・177号】 国民健康保険、介護保険事業、簡易水道事業特別会計補正予算	国民健康保険特別会計は、574万円の増額補正で、総額257億3,419万円余、介護保険事業は、5,786万円の増額補正で、総額120億7,168万円余、簡易水道事業は、3,750万円の増額補正で、総額21億2,633万円余となりました。いずれも、事業執行のために必要な経費を補正したものです。
	【第178号】 (仮称)新清掃工場環境学習施設建設工事	渡刈町に建設中の新清掃工場に隣接し、鉄筋コンクリート4階建ての環境学習施設を建設します。 清掃工場の見学とあわせ、ゴミの減量化やリサイクル等、環境について体験的な学習のできる施設です。 契約額5億9,325万円。 完成予定は、平成18年11月30日。
工事請負契約	【第179・180号】 (仮称)西部体育館建設・電気設備工事	西新町の西部運動広場に体育館を建設します。体育館は、鉄筋コンクリート2階建て、床面積は3,651平方メートル。競技コート、観客席は固定で300席が設置されます。地域体育館として計画的に整備されているものです。 契約額10億8,234万円。 完成予定は、平成18年11月20日。
	【第181号】 (仮称)大沼樋浄水場建設工事	大沼町地内に浄水場を建設し、下山地区の水道水の供給の向上を図ります。1日の処理能力は、1,830立方メートルです。 契約額は、3億4,860万円。 完成予定は、平成18年2月28日。
財産の取得	【第182・183号】 地域医療センター胸部X線デジタル検診車・MRI装置改良用機器等	豊田地域医療センターの医療機器等を購入し、検診・検査体制の充実を図ります。胸部X線デジタル検診車は6,972万円で、X線発生装置とデジタル処理装置を搭載しています。MRI装置改良用機器は、コンピュータシステム、解析ソフトウェアなどで6,405万円となります。
	【第184号】 こども発達センター通園バス	こども発達センターの通園用バス2台を購入します。いずれも中型バスで、うち1台には車椅子用リフトが付いたもので、3,780万円で購入します。
	【第185～191号】 水槽付消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付水槽車・消防ポンプ自動車 ほか	消防車等を購入し、消防装備の充実に努めます。 水槽付消防ポンプ自動車2台を1億605万円、小型動力ポンプ付水槽車3台を1億2,715万円、消防ポンプ自動車1台を4,074万円、小型動力ポンプ付積載車9台を4,601万円、高規格救急自動車2台を4,540万円で、それぞれ購入します。 広域化した豊田市にとって、消防力の向上は、安心・安全なまちづくりに欠かせません。
	【第192号】 豊田市美術館収蔵用美術品	豊田市美術館に収蔵する美術品として絵画を購入します。岸田劉生作の「代々木附近の赤土風景」で、取得価格は7,350万円です。岸田劉生作品は、これまで所蔵している4点に加え、計5点の絵画を所蔵することになりました。



9月14日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会で行いました。委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

開催日順に掲載しています。議案名等を一部省略しています。

### 産業建設委員会

9月20日(火)に委員会を開催し、付託議案23件を審査し、全会一致で承認しました。

【第133号】市民山の家条例の一部を改正する条例

**質問** 施設の修繕費は、市が負担する部分と指定管理者が負担する部分は明確になっているか。

**答弁** 緊急で簡易なものは指定管理者が行い、大規模なものは、市の費用で行う。

**質問** 指定管理者の導入により、施設の市民サービスが低下することはないか。

**答弁** サービスが今より低下しないように、仕様書で細かく規定をしていきたい。



【第163号】公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例

**質問** 電子商取引の導入により卸売市場の施設使用料収入が減少するのではないか。

**答弁** 電子商取引であっても市場のシステムを使用する以上は、市場で売った場合と同じように使用料をいただくことになっている。

【第170号】市営住宅条例の一部を改正する条例

**質問** 今後、市営住宅の駐車場を整備した場合には、駐車場料金を有料にするのか。

**答弁** 市営住宅ストック総合活用計画に基づき、新設される市営住宅については、一戸につき1.5台分を超える部分については有料にする。

9月20日(火)に委員会を開催し、付託議案22件を審査し、全会一致で承認しました。

### 環境福祉委員会

【第116号】産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例

**質問** この条例によって、これまでのような不公正処理された産業廃棄物の大量保管の防止となるのか。

**答弁** これまであった裁量権を排除し、個人の経験・知識に左右されずに条例に沿って厳しい行政処分を行うことができるため、今回のような案件は今後ないと考えている。

【第117号】障害者総合支援センター条例

**質問** 現在ある3施設の上にセンターが位置付けられ、センターが各施設を統括していくという考えなのか。

**答弁** 最終的には一つの施設にしたいという考え方をもっているが、当面はこの3施設のまま運営していく。新しい法律ができるという形になった段階で一つの施設にし、「就労」を一つの目標にすえて、そのクラス分けで再編するような形になる。その準備を今回の条例改正で行う。

【第174号】平成17年度一般会計補正予算

**質問** 不適正処理産業廃棄物処理費について、対策工事終了後の追跡調査により見守っていく考えは。

**答弁** 住民の不安があるとと思うので、対策工事終了後は周辺井戸の調査など、環境モニタリングを実施し、安全を確認していく。

### 教育次世代委員会

9月21日(水)に委員会を開催し、付託議案13件を審査し、全会一致で承認しました。他に陳情5件も審査しました。

【第174号】平成17年度一般会計補正予算

**質問** 矢作川河床埋没林調査費負担金における調査項目、調査期間及び保存方法は。

**答弁** 調査項目は、埋没林の分布状況、樹齢、樹種、年代測定、土壌調査等の自然科学調査と試掘による土壌堆積状態を調べる地形地質調査の2つを、平成17年10月から18年3月までの調査期間で行う。埋蔵文化財の保存方法である記録保存をする。

【第179・180号】工事請負契約の締結(仮称西部体育館建設・電気設備工事)

**質問** 西部体育館の建設予定地は東海豪雨で浸水被害のあった地域だが対策は。また他の地域体育館は観客席がなく不便と聞くが観客席は整備するか。

**答弁** 洪水ハザードマップの被害想定に対応した造成、建設を行う。グラウンドと駐車場は、約1万5,000㎡の浸水雨水貯留設備とする予定。観客席は、ベンチ式を300席整備する。

【第192号】財産の取得・美術館収蔵用美術品

**質問** 作品を購入する際の価格の基準はどのようになっているか。また、岸田劉生の作品は今後も購入を続けるのか。

**答弁** 価格の基準については、他の公立美術館の購入価格を調査、比較検討し、収集委員会に諮り決定している。豊田市美術館の収集方針は、一作家複数作品の収集を基本としており、劉生はその重要作家の一人である。



# 委員会

9月21日(水)に委員会を開催し、付託議案22件を審査し、全会一致で承認しました。

## 生活社会委員会

【第114号】地域自治区条例

**質問** 地域会議の考えと支所長の考えが異なる場合はどうするか。

**答弁** 支所長は地域会議の考えを尊重するのが原則だが、支所長の判断によりそれが実現できない場合には、その理由を説明する責任を負う。

【第173号】火災予防条例の一部を改正する条例

**質問** 住宅用防災機器の設置について、市民への周知や啓発はどのようにするか。

**答弁** すでに自治区へのチラシの配布、消防行事や講習会での啓発、広報紙による啓発を行っており、今後は職員が自治区等に出向いて説明を行う予定。

【第174号】平成17年度一般会計補正予算

**質問** わくわく事業補助金について、使途の基準はどのように示すのか。

**答弁** 要綱を定めて示す予定であるが、できるだけ地域会議で考えたものが実現できるようにしたい。

【第191号】財産の取得・高規格救急自動車

**質問** 今後の高規格救急自動車の市内全体への配置はどうか。

**答弁** 今回の2台を購入することにより、本部、分署、出張所すべてに高規格救急自動車が配置されることになり、救急患者搬送の体制が整備された。

## 企画総務委員会

9月22日(木)に委員会を開催し、付託議案6件を審査し、全会一致で承認しました。また、請願1件を審査し、不採択としました。

【第113号】まちづくり基本条例

**質問** 第15条に基づき住民投票条例が制定された場合の投票資格者の考え方は。

**答弁** 住民投票条例の制定請求が有権者に限定されることに対して、投票資格要件を拡大するかどうかについて、案件によって検討されて条例に盛り込まれていくと考えている。

【第115号】市長の給料の月額減額に関する条例

**質問** 減額を30%にした根拠は、また提案理由に不適切な対応に対する管理責任を明確にするとあるが、何が不適切であったか。

**答弁** 明確な根拠はないが、市長の関わりと責任を整理し、過去の事案も考慮した。また、平成12年3月に措置命令及び停止命令を出しているが、その後も停止命令により廃棄物の撤去の促進を図るべきであったということなどが不適切である。

【第118号】報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

**質問** 徴税専門員はどのような資格の人を充てるつもりか。

**答弁** 資格を持っていないけれども良いが、不動産の実務経験を有した税務署のOBなど必要な知識とノウハウを持ち合わせた人を任用する。



今定例会に、次のとおり、請願と陳情が提出され審査されました。

## 請願

請願1号 中小零細業者に市の仕事を! 小規模事業等契約希望者登録制度創設を求める請願書

中小零細業者にとって厳しい経済情勢の中、「小規模事業等契約希望者登録制度」の創設により、他自治体では中小零細業者の受注が増え、地域に大きな経済効果を生んでいる。

入札参加資格が無くても、発注が可能となる「小規模事業等契約希望者登録制度」の創設を求める。

審査の結果、不採択となりました。

## 陳情

陳情6号 義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小に関する陳情書

三位一体改革では義務教育費財源の地方での一般財源化が論議されている。21世紀を担う子どもを健やかに育てるためには、義務教育の費用を国の責任において保障することが必要である。

また、より良い教育のために少人数学級を確保する教育予算も必要。関係機関に、1 義務教育費国庫負担制度を堅持すること。2 国段階における、学級規模の縮小を早期に実現すること。を陳情事項とした意見書提出を求める。

陳情7号 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書

陳情8号 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

陳情9号 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

現在愛知県では、3人に1人が私立高校に通っており、教育では重要な役割を担っているが、私立高校財政運営は厳しく、公立高校との父母の経済負担格差はますます広がっている。

教育機会均等を保障し、高校教育を公私協力して充実するために、市町村独自の授業料助成の拡充を求める。

また、国や愛知県に対し、私学助成拡充のための予算や制度を要求する意見書の提出を求める。

陳情10号 平成18年度学校法人愛知朝鮮学園とその生徒保護者に対する補助金に関する陳情書

愛知朝鮮学園は、在日コリアンの子どもに民族教育を施し、また、昨年大学受験資格が与えられるなど、日本における教育機関としての認知もされてきているが、まだ制度的差別が残る。

学園や生徒保護者に対して、自治体から日本の学校と同様な財政的支援を求める。



# 決算特別委員会

9月定例会では、平成16年度の決算状況を審査します。今年は、合併町村のものを含め、63件の一般・特別・企業会計決算が承認案件として提出され、決算特別委員会に付託されました。

次の12名の委員を選出し9月2日から28日にかけて開催、審査しました。

- |      |  |
|------|--|
| 委員長  | 岩月幸雄、  |
| 副委員長 | 太田之朗   |
| 委員   | 坂部武臣、梅村 進、松井正衛<br>八木哲也、大村義則、加藤昭孝<br>岡田耕一、近藤光良、湯本芳平<br>小島政直 |

## 承認案件

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| 第4号 | 平成16年度豊田市一般会計決算    |
| 5   | 国民健康保険特別会計決算       |
| 6   | 食肉センター特別会計決算       |
| 7   | 都市計画事業土地区画整理特別会計決算 |
| 8   | 分譲住宅建設事業特別会計決算     |
| 9   | 公共下水道事業特別会計決算      |
| 10  | 卸売市場特別会計決算         |
| 11  | 老人保健特別会計決算         |
| 12  | 農業集落排水事業特別会計決算     |
| 13  | 水道水源保全事業特別会計決算     |
| 14  | 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算 |
| 15  | 介護保険事業特別会計決算       |
| 16  | 平成16年度藤岡町一般会計決算    |
| 17  | 国民健康保険特別会計決算       |
| 18  | 土地取得特別会計決算         |
| 19  | 老人保健特別会計決算         |
| 20  | 介護保険特別会計決算         |

- |    |                   |
|----|-------------------|
| 21 | 平成16年度小原村一般会計決算   |
| 22 | 簡易水道事業特別会計決算      |
| 23 | 国民健康保険特別会計決算      |
| 24 | 老人保健特別会計決算        |
| 25 | 土地取得特別会計決算        |
| 26 | 介護保険特別会計決算        |
| 27 | 平成16年度足助町一般会計決算   |
| 28 | 国民健康保険事業特別会計決算    |
| 29 | 老人保健特別会計決算        |
| 30 | 介護保険特別会計決算        |
| 31 | 簡易水道事業特別会計決算      |
| 32 | 盛岡財産区特別会計決算       |
| 33 | 賀茂財産区特別会計決算       |
| 34 | 奨学金特別会計決算         |
| 35 | 土地取得特別会計決算        |
| 36 | 平成16年度下山村一般会計決算   |
| 37 | 土地取得特別会計決算        |
| 38 | 奨学金特別会計決算         |
| 39 | 老人保健特別会計決算        |
| 40 | 国民健康保険事業特別会計決算    |
| 41 | 介護保険特別会計決算        |
| 42 | 西部簡易水道事業特別会計決算    |
| 43 | 北部簡易水道事業特別会計決算    |
| 44 | 南部簡易水道事業特別会計決算    |
| 45 | 北部飲料水供給施設事業特別会計決算 |
| 46 | 平成16年度旭町一般会計決算    |
| 47 | 土地取得特別会計決算        |
| 48 | 奨学金特別会計決算         |
| 49 | 国民健康保険事業特別会計決算    |
| 50 | 老人保健特別会計決算        |
| 51 | 介護保険特別会計決算        |
| 52 | 簡易水道事業特別会計決算      |
| 53 | 平成16年度稲武町一般会計決算   |

- |    |                      |
|----|----------------------|
| 54 | 平成16年度稲武町営バス事業特別会計決算 |
| 55 | 国民健康保険特別会計決算         |
| 56 | 老人保健特別会計決算           |
| 57 | 簡易水道事業特別会計決算         |
| 58 | 農業集落排水事業特別会計決算       |
| 59 | 育英事業特別会計決算           |
| 60 | 介護保険特別会計決算           |
| 61 | 平成16年度豊田市水道事業会計決算    |
| 62 | 藤岡町水道事業会計決算          |
| 63 | あすけ地域消防組合一般会計決算      |
| 64 | 東加茂模範造林組合一般会計決算      |
| 65 | 豊田地方教育事務協議会決算        |
| 66 | 東加茂地方教育事務協議会決算       |

## 決算審査内容

平成16年度豊田市一般会計決算はじめ合併町村の会計決算を含め、63の承認案件を審査し、いずれの決算も妥当と、認定しました。

委員会において、歳入では、法人市民税の減少の理由、財政力指数が高いため大規模償却資産税が県課税となるが影響額は、入湯税の課税に誤りがあったのではないかなどの質疑が行われました。また、歳出では、健康増進対策、環境対策啓発、塵芥処理、公園緑地協会についてなどの質疑が行われました。

また、藤岡町一般会計で、温泉開発の計画について及び、第2中学校建設事業についての質疑が、足助町一般会計では、地域情報基盤整備事業についての質疑が行われました。

## 討 論

### 自民クラブ 河合芳弘

議案第113号、第114号、第116号に賛成、請願第1号に反対の討論。

113号の豊田市まちづくり基本条例は、合併を契機とした新しいまちづくりの基本的な方向性を示すものとして高く評価。114号は、地域の独自性を活かす、簡素で効率的な行政の実現、また住民の声が市政に的確に反映できるとの考えから賛成。請願は、小規模といえども履行、品質の確保は必要であり反対。

### 市民フォーラム 中村晋

議案第113号、第115号、第116号、指定管理者関連議案に賛成、請願第1号に反対の討論。

113号は、市民の参画と共働による

自治の確立に向けた都市内分権の取組は、本市の独自性を踏まえたものと評価し賛成。115号は、報告書を受け、管理監督責任を明確にし、迅速な行動をとることを評価。116号産廃処理に関し、行政処分基準を条例で定め、強制力を持たせた形で執行でき、賛成。請願1号は制度創設を必要なしと判断する。

### 新政クラブ 岡田耕一

議案第117号はじめ指定管理者関連議案に賛成、議案第192号、請願第1号に反対の討論。

指定管理者関連議案は、行政サービスの質の向上と行政コスト削減をねらいとした指定管理者制度を導入するためのものであり、賛成。積極的に公募すべき。192号は、美術館収蔵品を購

入するもの。すでに多数の作品を所蔵、購入総額も他市と比較し多い。新規購入は必要なく反対。請願1号、趣旨は賛成だが、制度創設にはまだ検討の余地があると考え反対。

### 諸 派 大村義則

議案第113、116、125、133、160号に賛成、第119、122、130、131、132号に反対、請願1号に賛成の討論。

民主的な自治体実現のため、まちづくり基本条例の制定は必要と考え賛成。指定管理者制度導入で、これまで管理運営してきた職員の労働条件が変わるものには反対。地元やNPOに管理の道が開かれ、民間の管理にふさわしいものは賛成。請願1号は、入札資格のない事業者にも受注できるように制度を創設すべきであり賛成。



# 議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています。

議案	採決結果	会派別賛否									
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		新政クラブ 3名		諸派 1名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
9月市議会定例会に付された案件		議長・欠席を除く									
第113号 まちづくり基本条例	原案可決	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
114 地域自治区条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
115 市長の給料の月額減額に関する条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
116 産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
117 障害者総合支援センター条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
118 報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
119 生涯学習センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	0	1
120 視聴覚ライブラリー条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
121 豊田地域文化広場条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
122 文化財施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	0	1
123 青少年育成施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
124 勤労青少年ホーム条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
125 体育施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
126 市民文化会館条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
127 コンサートホール・能楽堂条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
128 六鹿会館条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
129 コミュニティセンター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
130 平戸橋いこいの広場条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	0	1
131 猿投棒の手ふれあい広場条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	0	1
132 自然観察の森条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	0	1
133 市民山の家条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
134 テレビ共同受信施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
135 電源立地地域対策交付金事業等集会施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
136 小原北部生活改善センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
137 稲武押山地区振興施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
138 浄化槽保守点検業者登録条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
139 福祉センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
140 藤岡福祉センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
141 小原福祉センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
142 下山保健福祉センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
143 稲武福祉センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
144 老人福祉センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
145 東山デイサービスセンター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
146 高齢者温泉休養施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
147 老人憩の家条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
148 介護予防拠点施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
149 障害者福祉会館条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
150 市立身体障害者通所授産施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
151 こども発達センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
152 知的障害者生活ホーム条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
153 福祉就業センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
154 農村環境改善センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
155 旭高原自然活用村条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
156 トレーニングセンター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
157 旭農林水産施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
158 稲武どんぐり工房条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0
159 森林会館条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0



## 議案審議結果

議案名等は、一部省略して記載しています。

議案	採決結果	会派別賛否											
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		新政クラブ 3名		諸派 1名			
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対		
9月市議会定例会に付された案件		議長・欠席を除く											
議案													
第160号 木材需要促進センター条例の一部改正条例	原案可決	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
161 基幹集落センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
162 旭高原牧野条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
163 公設地方卸売市場条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
164 豊田産業文化センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
165 観光施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
166 香恋の館条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
167 豊田高等職業訓練校条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
168 小原勤労者研修センター条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
169 都市公園条例及び都市公園使用料条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
170 市営住宅条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
171 汚水処理施設条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
172 消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
173 火災予防条例の一部改正条例	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
174 平成17年度一般会計補正予算	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
175 " 国民健康保険特別会計補正予算	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
176 " 介護保険事業特別会計補正予算	"	30	0	8	0	3	0	3	0	0	1		
177 " 簡易水道事業特別会計補正予算	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
178 工事請負契約の締結(仮称豊田市新清掃工場環境学習施設建設工事)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
179 工事請負契約の締結(仮称豊田市西部体育館建設工事)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
180 工事請負契約の締結(仮称豊田市西部体育館電気設備工事)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
181 工事請負契約の締結(仮称大沼凧浄水場建設工事)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
182 財産の取得(豊田地域医療センター胸部X線デジタル検診車)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
183 財産の取得(豊田地域医療センターMRI装置改良用機器等)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
184 財産の取得(豊田市こども発達センター通園バス)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
185 財産の取得(水槽付消防ポンプ自動車その1)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
186 財産の取得(水槽付消防ポンプ自動車その2)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
187 財産の取得(小型動力ポンプ付水槽車その1)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
188 財産の取得(小型動力ポンプ付水槽車その2)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
189 財産の取得(消防ポンプ自動車)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
190 財産の取得(小型動力ポンプ付積載車)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
191 財産の取得(高規格救急自動車)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
192 財産の取得(豊田市美術館収蔵用美術品)	"	30	0	8	0	3	0	2	1	1	0		
193 都市公園予定区域の決定(深田公園、若林東公園)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
194 市道の認定(4路線/492m)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
同意													
第3号 教育委員会委員の選任(豊田彬子氏)	同意	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
4 人権擁護委員の推薦(螺澤代氏、城金正就氏、鈴鹿三郎氏、丹羽三千代氏)	"	30	0	8	0	3	0	3	0	1	0		
報告													
第8号 専決処分(工事契約変更1件、損害賠償8件、和解1件、訴訟1件、補正予算1件)													
陳情(5 参照)													
第6号 義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小に関する陳情													
7 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情													
8 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情													
9 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情													
10 愛知朝鮮学園とその生徒保護者に対する補助金に関する陳情													
請願(5 参照)													
第1号 小規模事業等契約希望者登録制度創設を求める請願	不採択	0	30	0	8	0	3	0	3	1	0		





# 一般質問

八木哲也

自民クラブ

- ・「小さくて効率的な行政の実現」について
- ・産業廃棄物行政について

三位一体改革とのかかわり

## 質問

"小さな政府"の実現に向けて、三位一体改革と都市内分権の関連性は、また、改革推進において中核市連絡会会長としての役割を問う。

## 答弁

三位一体改革は、都市内分権に向けての具現化方策。小さな政府の実現、地域力の向上を目指し、国への監視、要望を続けていく。会長としての役割は、国による税源確保問題に取り組みながら、連絡会の改革を提案していく。秋の方向性策定に向けて協議中である。

篠田忠信

新政クラブ

- ・今後進めるべき行政改革
- ・指定管理者制度の導入にあたって

ムダな投資は許されない。第2藤岡中学校建設候補地の見直しとその責任

## 質問

合併議決後に購入した現候補地での建設を断念した。新たな場所の検討に入るが、無駄な支出となる土地購入の責任をどう考えるか。

## 答弁

新たに検討している中学校用地は、平成22年4月の開校を最短の目標とし、約400人規模のものを考えている。断念した土地は、他の公共利用を考えている。旧藤岡町は説明責任を果たしていなかったと思うが、合併前の藤岡町に踏み込んだ関与ができなかったことの責任は感じている。

坂部武臣

自民クラブ

- ・豊田市の医療提供体制の整備について
- ・東京事務所開設の効果等について

「医療センター将来構想検討会議まとめ」に対する見解について

## 質問

医療センター構想において、他の

土地に移転するという考えはないか。また、南部地域に「健康づくり」の拠点施設を設置する考えは。

## 答弁

医療センターの移転については将来の見通しを明確にする時期に来ている。医療対策懇話会にて移転の是非や方策、場所等を協議していく。南部地域には、保健センターに相当する機能を持った拠点を設置できるよう、年度内の方向性決定に向け努力していく。

太田之朗

市民フォーラム

- ・人口減少社会への対応について

人口減少にも耐えられる都市構造について

## 質問

人口減少社会を生き抜くために、都市機能の高密度化が必要。優遇措置で誘導し、鉄道駅周辺等をコンパクトタウン化すべきである。

## 答弁

今日の社会情勢をみると、コンパクトタウン化への動きは都市経営上必要だ。公共・公益施設を集積し、民間の活力を生かして、高度な土地利用を図るべきと考える。また、実現のためには、何らかのインセンティブが必要。今後、先進地の事例を参考に検討していく。

岡田耕一

新政クラブ

- ・幼稚園の民間移管について
- ・各種問題のその後について

保護者からの声

## 質問

幼稚園の民間移管について、保護者の声は届いているか。移管により市は経費削減したが、保護者負担が増えた事は、どう考えるか。

## 答弁

保護者からは、様々な意見を頂いている。信頼関係を築きながら子どもにとって良い環境を共に作ってきたい。移管に伴って、入園される方の負担は確かに増えている。私立幼稚園就

園奨励費の制度を設け、対応している。新たな助成制度の仕組みも考えたい。

山田和之

自民クラブ

- ・農業の担い手確保と遊休農地の解消

農業の担い手育成策について

## 質問

後継者不足により遊休農地が増え近隣農地に悪影響を及ぼしている。趣味・自給程度の農業の担い手や農業高校卒業者への支援施策は。

## 答弁

趣味・自給程度の栽培は、貸し農園を利用する事になる。個人の技術・資金に合わせた面積で取り組める仕組みだ。農業高校卒業者には、教育研修等で就農支援資金を貸し付ける制度がある。中山間地域へ就農すれば、償還金の2/3を愛知県と豊田市で助成している。

外山雅崇

新政クラブ

- ・アスベスト及びフェロシルト対策について
- ・地域医療センター将来構想と加茂病院への負担金
- ・「産廃」の違法保管に関する報告書

地域医療センター将来計画

## 質問

医療センター将来構想検討会議において、移転先は加茂病院の跡地が良いという結論が出た。他の場所に移設する事はあり得るのか。

## 答弁

内部的には方向性を検討しているが、移転先の可能性については結論が出ていない。医療センターからの考えを受けて、情報対策を整理している段階だ。本年度の医療懇話会にて医療提供体制の全体像をまとめていく中で、将来の方向性を固めていきたいと考えている。





質問順に掲載しています

**園田昌康** 自民クラブ

- ・新市のまちづくり計画
- ・新市における交通施策の進め方
- ・国道248号の拡幅事業について

線引制度について

質問

市街化区域の線引き制度が全国で見直されているが、市は運用をどう考えるか。また、現状に合っていない用途地域を見直す考えは。

答弁

本市は中部圏開発整備法により、線引き制度が義務付けられている。将来的にも人口が微増傾向にあるため、引き続き計画的な市街化を図っていく。現状に合わない用途指定は、今年度から様々な視点から見直して方針の検討を実施し、次年度から用途地域の変更を行う。

**佐藤恵子** 公明党

- ・英語教育の充実
- ・チャイルドファースト社会の構築にむけて

子どもたちの居場所作り事業について

質問

放課後児童クラブについて、現状と今後の見通しを伺う。文科省が「子どもの居場所作り新プラン」を推進しているが、市はどうか。

答弁

各クラブでは基準の約2倍と、余裕を持った指導員数で児童を育成指導している。今後は社会情勢から参加希望が増えると考え、新規開設や指導員の向上を図る。文科省を参考にしながら、地元の人材が主体となって子どもたちを見守る、安全なシステムを展開したい。

**田中建三** 市民フォーラム

- ・納税の義務と安定した財源の確保
- ・今後の国民健康保険のあり方

急激な高齢化の対応

質問

現在の国保加入率は24%。しかし10年後には団塊世代の方が加入し80%になると予想される。どのような見通しを立てているか。

答弁

現在の雇用形態、社会構造が続けば、10年後に国保加入者は3倍にふくれ上がる。しかし、基金を前提とした現行制度で考えれば、直接的に本市の国保会計を脅かすものとはならない。国の対策や動向にも十分気をつけて、適切な取組が出来るよう心がけていく。

**杉浦弘高** 自民クラブ

- ・地方分権時代に向けての自立への方策
- ・上下水道事業

地域内経済循環型社会

質問

自治体内での経済循環が、都市の基礎体力作りとなる。公共事業を始めとする発注事業に関して、基本的見解と契約の仕組みを伺う。

答弁

市民の福祉増進には地元企業の活力活性化が欠かせない。極力、地元が発注して、地域内経済循環に役立てていきたい。契約の仕組みは、市内の工業者すべてに平均的に指名が行き渡るようにランク分けしている。ランクの基準は、経営事項審査の総合評点を引用している。

**庄司章** 市民フォーラム

- ・とよた子どもスマイルプランについて

子育て家庭に対する支援の充実について

質問

現在の放課後児童クラブと、(仮称)子どもたちの居場所づくり事業の違いは。また、似た名称が多い為、判りやすく告知できないか。

答弁

放課後児童クラブは、保護者の都

合により監護が不十分な児童を保護・育成する事業。子どもの居場所づくり事業は、地域住民主体の、子どもが安全に過ごせる仕組みづくりだ。告知はホームページ開設やハンドブック作成等を行い、判り易いネーミングも検討していく。

**山内健二** 市民フォーラム

- ・人口減少社会での学校問題
- ・新たな公共交通ネットワークの形成

新たな交通システム(IMTS)の導入について

質問

交通円滑化の観点から、新たな公共交通機関が不可欠。路線イメージと導入システムの検討状況は。担当部長は導入をどう考えているか。

答弁

路線は中心市街地から高橋地区の住宅地を経由し、三河豊田駅、土橋駅を連絡するルートを想定している。システムはガイドウェイバスやIMTSが有力な候補だ。新交通システムの整備には利用者数の確保が大切。移動目的のあるまちづくりと併せて、調査を続けたい。

**三宅正次** 自民クラブ

- ・学校教育
- ・地域における観光文化交流施設の整備

「和紙のふるさと」・「小原歌舞伎伝承館」との一体的な整備について

質問

小原地域の文化・芸術・観光の拠点となる「和紙のふるさと」と「小原歌舞伎伝承館」の整備について、規模や内容はどのようなものか。

答弁

両者は小原地域の伝統文化継承に、なくてはならない存在。「歌舞伎伝承館」は、衣装等の展示や練習場の機能を持った、1000㎡程度の施設を想定している。また、「和紙のふるさと」との一体的な整備も視野に入れて、各関係機関の意見を聞きつつ整備計画を進めていく。



# 一般質問

梅村 進

自民クラブ

・名鉄跡地を生かしたまちづくり

跡地活用のまちづくりについて

質 問

さなげ足助バスの利用促進方策と、合併を踏まえた展開は。また、廃線跡地はまちづくりの重要な資源。地域の取組への支援を伺う。

答 弁

今年度、バスロケーションシステムの導入や上屋の整備を考えている。今後の展開は、新市の公共交通計画策定の中で検討を行う。廃線跡地の活用は、すでに協議を進めており具体的な活動計画を待っている状態。まちづくり事業が実現されるよう支援していく。

都築繁雄

自民クラブ

・新市における観光・交流推進について  
・緑のリサイクルなどについて

観光・交流推進に向けた組織づくり

質 問

合併により、本市の観光資源は増加した。新たな観光・交流推進組織の現状と課題は。また将来に向けて組織の目指すべき姿を伺う。

答 弁

合併地区の観光協会と豊田市観光協会は活動の中核組織。現在、平成18年度からの改組に向けて検討を行っている。組織のあり方は、観光基本計画での重要なテーマ。官主導から民主導に移行し、機能的組織を目指す。情報発信も、IT技術を駆使した手法を検討する。

加茂みきお

自民クラブ

・次世代育成支援  
・教育の充実と推進

文化財と民芸の保存と活用の推進

質 問

合併により、有形無形の指定文化財が大幅に増えた。大切な民俗の文化財の伝承、記録保存、収蔵と活用

について、その手法を伺う。

答 弁

伝統的郷土芸能は、保存伝承に努めている。伝統的な年中行事については、平成15年度から映像にて保存。文化財は郷土資料館収蔵庫や棒の手会館収蔵庫に保管している。収蔵庫が手狭になってきているので、今後進める歴史民俗博物館構想の中で増設を検討していく。

日恵野雅俊

自民クラブ

・商業振興条例と中心市街地活性化  
・豊田おいでんまつり

中心市街地の都市基盤整備

質 問

中心市街地にかつての賑わいが戻りつつある。駅前南地区市街地再開発の進捗よく状況を伺う。北街区、西町街区の基盤整備の展望は。

答 弁

南地区再開発事業は、すでに西棟から着工しており、平成18年10月の竣工に向けて進行中だ。東棟も平成19年度末の竣工を目指す。北街区については、現状では具体的な事業計画案の作成に至っていない。西町街区は、地域と連携してまちづくりを進めていきたい。

三江弘海

自民クラブ

・森林の有効利用と森林ゾーンの役割

財産区としての森林活用とその将来

質 問

財産区の森林活用に、都市住民に貸して環境整備を手伝ってもらおうという手法がある。効果的な有効利用と考えるが、市の所感は。

答 弁

「貸し林」は合併のテーマでもある都市と農山村の交流を進める事業として、大変注目している。推進には法規制などの課題があると聞いているが、地元住民の知恵で乗り越えて是非実現して頂きたい。市としても出来る限りの支援を行いたいと考えている。

梅村憲夫

自民クラブ

・障害者の地域生活を支援する取組について  
・介護保険制度について

次期介護保険事業の見直しについて

質 問

次期介護保険事業の見直しは、どのような点が改正されるか。また、地域密着型サービスに伴う、日常生活圏域の分け方についても伺う。

答 弁

予防重視型システムへの転換、施設給付の見直し、新たなサービス体系の確立、サービスの質の確保・向上、負担のあり方・運営制度の見直しなどが、主な改正点。

日常生活圏域は、サービスを整備する基本単位であり、高齢者・要介護認定者数を考慮して設定した。

杉浦 昇

自民クラブ

・行政評価制度の定着化  
・安定的な国民健康保険事業運営について  
・入札・契約事務の見直し

行政評価制度の確立と定着化

質 問

地方公共団体における行政評価制度が進んでいるが、成果が疑問視されている。評価結果はどのように活用し、また公表していくのか。

答 弁

行政評価制度を通して事業の重要度、優先度等を議論し、戦略的な計画策定を行いたい。また、次年度予算に反映できる評価結果は、予算編成と連動させる。公表については説明責任を果たすものと考え、今年度末を目標に広報やホームページを通じて情報提供を行いたい。





### 7月市議会臨時会

7月28日(木)の1日を会期として7月臨時会を開催し、補正予算2件、訴えの提起1件の3議案を審査し、いずれも原案を可決しました。

【110号】平成17年度豊田市公共下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ6,570万円を追加し、総額を134億5,071万円としました。これは地方債の低利率のものへの借換に伴うものです。

【111号】平成17年度豊田市水道事業会計補正予算

収入支出を6,450万円増額し、支出総額を75億5,961万円としました。これは、企業債の低利率のものへの借換に伴うものです。

【112号】訴えの提起について

勘八町地内の産業廃棄物処理施設において、生活環境の保全上の支障の除去等に要する費用、2億712万円余の支払いを求める訴

えです。これは本来行うべき者に代わり市が代理で行うため、相手方はその費用を請求するものです。

議案第110号、111号は生活社会委員会に、第112号は企画総務委員会に付託し、いずれも全会一致で承認しました。

討論は新政クラブの外山雅崇議員、自民クラブの八木哲也議員、諸派の大村義則議員が、議案第112号の訴えの提起について、いずれも賛成の立場から行い、その後採決が行われました。

#### 議案審議結果

#### 7月市議会臨時会に付された案件

議案	採決結果	会派別賛否									
		自民クラブ 30名		市民フォーラム 10名		公明党 3名		新政クラブ 3名		諸派 1名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第110号 平成17年度公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決	29	0	9	0	3	0	3	0	1	0
111 " 水道事業会計補正予算	原案可決	29	0	9	0	3	0	3	0	1	0
112 訴えの提起(産業廃棄物処理施設の支障除去費用の請求)	原案可決	29	0	9	0	3	0	3	0	1	0
報告											
第7号 専決処分報告(損害賠償額の決定2件)											

### PCB廃棄物処理施設見学(8月17日)

8月17日、市内細谷町に建設していた、PCB廃棄物処理施設が完成し、豊田市議会として施設を見学しました。

施設は、PCB廃棄物を処理するため、国が全国に建設している施設で、東海三県では豊田市に設置されました。

本格稼働が始まりましたが、市民が参加する監視委員会とともに議会としても、環境や安全について継続的に監視していきます。



### 秋の交通安全市民運動(9月9日)

9月9日、9月定例会の開会日、国道153号沿いで議員をはじめ市幹部も一緒に、街頭指導活動を行い、市民に交通安全を呼びかけました。これは秋の交通安全市民運動の一環として行われました。



### 排煙電源車の披露(9月9日)

9月9日、消防本部が配備した「排煙電源車」が議員に披露されました。

巨大な扇風機を備え、市内の高速道路のトンネル火災などで威力を発揮します。



### ご意見・ご感想

「市議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

#### 【宛先・問合せ】

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地  
豊田市議会事務局  
電話 0565・34・6665 ファックス 0565・34・6566  
E-Mail gikai@city.toyota.aichi.jp

【とよた市議会だより】が豊田市のホームページでご覧いただけます  
ホームページアドレス <http://www.city.toyota.aichi.jp>

議会中継は、[ひまわりネットワーク][FMとよた]で視聴できます

放送チャンネル/生放送・録画放送/21ch  
ラジオ・ラピート/78.6MHz

### 12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は  
12月2日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「9月市議会定例会 秋号」です。  
このページは裏面になります。  
本紙から抜き取ってご覧ください。